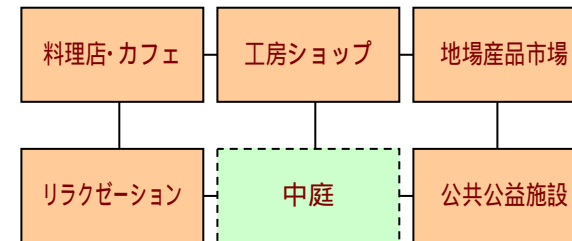


鶴巻温泉駅南口地区賑わいの拠点づくり事業 基本構想（案）

施設構成イメージ

賑わいの拠点づくりを実現する拠点施設は、駅前広場や県道の整備に係る地元商業者店舗を核に、広く市内外からこだわりの専門店などを誘致することにより施設構成します。



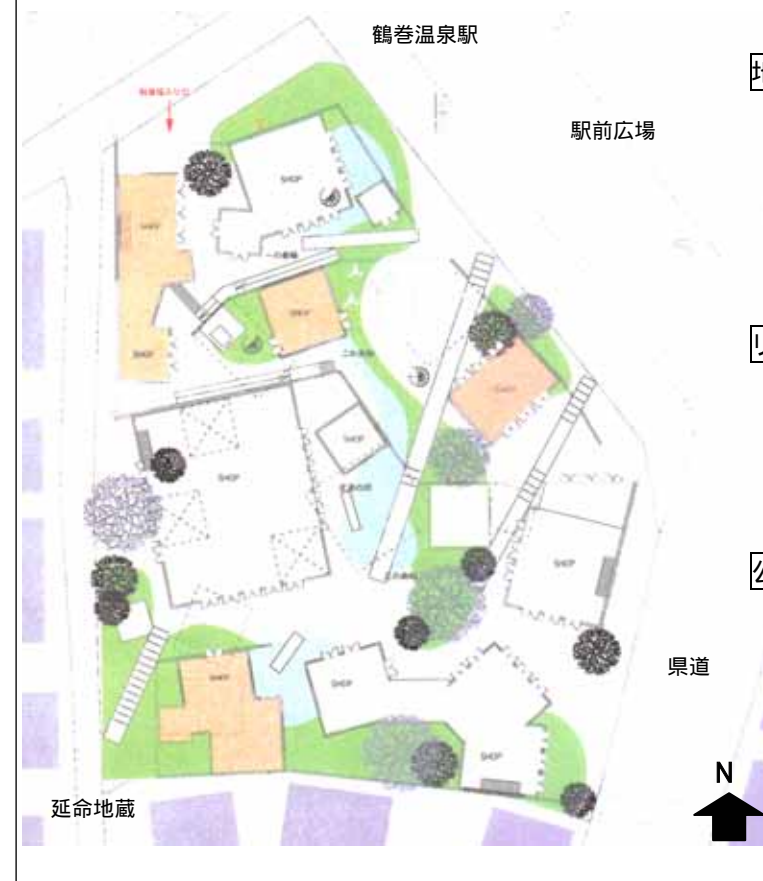
料理店・カフェ ・地場の食材を使った職人の技が生きる料理店の集積により、食文化を体験でき、さらに様々な人達の交流を促します。

工房ショップ ・手仕事・手づくりの良さにこだわり・楽しむ食品や製品、ファッション、工芸作品などを制作販売する、工房や作業場を併設した専門店などを集積します。

地場産品市場 ・地場の生鮮品を中心に扱う「市場」を構成し、地産地消を牽引するとともに、日常生活を支援する近隣型ショッピングセンターとしての機能を担います。地場産品を土産物としても販売することでハイキングや温泉への観光客・来街客に対応します。

リラクゼーション ・整体、足つぼマッサージ、エステティックなどリラクゼーションに係る店舗で、疲れた体を癒し大人を元気にします。また、誰もが気軽に立ち寄れる“憩いの場”を創出します。

公共公益施設 ・鶴巻温泉地区の生活を支援し利便性を高めるため、郵便局をはじめ各種サービス業店舗、行政関連施設、多目的スペースなどによる構成を目指します。



事業の概要

賑わいの拠点づくりの目標

地元住民にとって
日常生活支援拠点づくり

地元商業者にとって
地元商業の活性化

来街者にとって
秦野の新たな名所づくり

賑わいの拠点づくりは、鶴巻温泉駅南口まちづくり協議会が平成 15 年 8 月に策定した「まちづくり基本構想」に位置づけられた事業です。

現在計画されている鶴巻温泉駅南口駅前広場に面する約 3,400 m²を拠点施設の予定地区と設定し、地権者の方々の協力を得て事業化を進めていきます。

この拠点施設は、鶴巻地区の玄関口・駅前の顔にふさわしい個性ある景観と機能を持ち、市民の生活を支えると同時に、新たな名所となることを目指して整備します。

事業の基本方針

賑わいの拠点づくり事業は、「ヒューマンスケールの街づくり」、「市民・来街者を元気にする」、「地元市民・企業を結集して事業化」を基本方針に、拠点施設の整備を進めます。

ヒューマンスケール
程良い人間的な尺度。人間の感覚や行動に適合した、適切な空間の規模やもの大きさのことです。

- ・「箱物」づくりから「街」づくりへの発想の転換
- ・誰もが気軽に立ち寄り、快適で気分転換できるヒューマンスケールの「街」づくり

空間構成
ヒューマンスケールの
「街」づくり

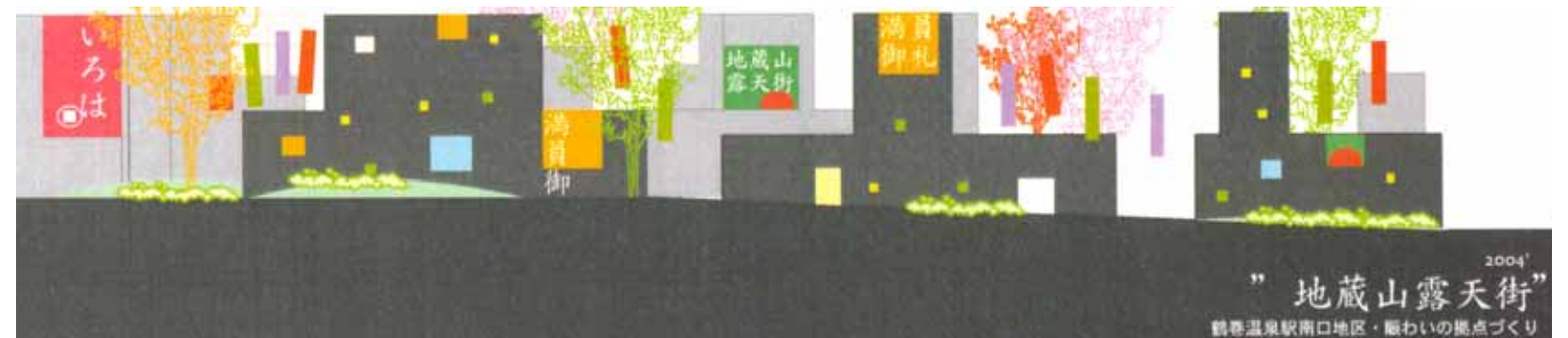
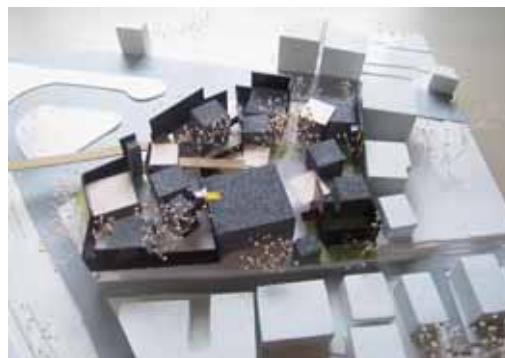
- ・低層の店舗等施設、歩行者路、広場（中庭）、路地などで構成された空間
- ・人々が集まり、散策し、憩い、楽しむ「街」として運営

機能構成
市民・来街者を元気にする
多機能複合開発

- ・地元住民と同時に、温泉・ハイキングの来街者に対応し、中高年世代が主ターゲット
- ・「地産地消」を旨に地元の本物にこだわる
- ・飲食・ショッピングと文化・健康等の複合

事業推進
地元市民・企業を結集し
地元主導で施設開発

- ・地元住民と企業の力（資金と知恵）を結集して事業化を推進
- ・市内外の広範な人達や企業への協力要請
- ・事業プロセスの情報公開で市民参画促進

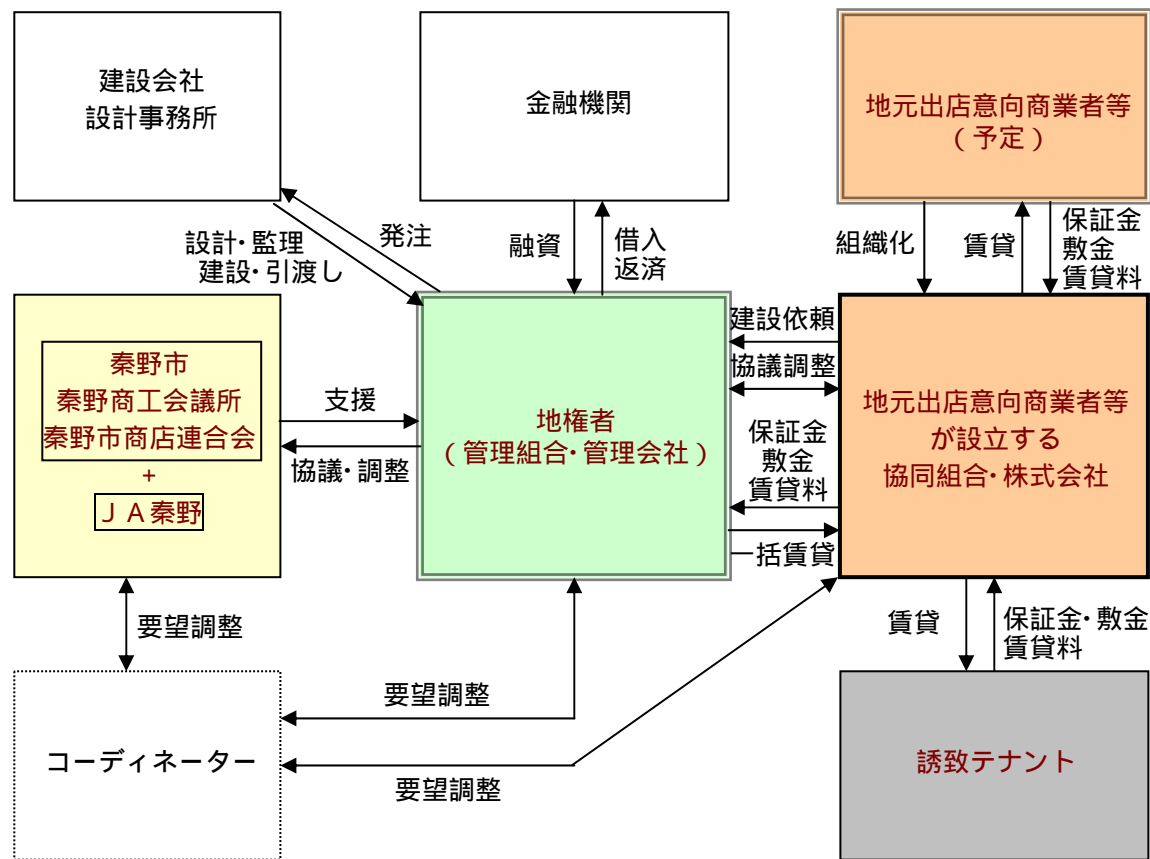


2004
”地蔵山露天街”
鶴巻温泉駅南口地区・賑わいの拠点づくり

事業の仕組みイメージ

賑わいの拠点づくり事業は、駅前広場の整備や県道の拡幅に伴って移転を余儀なくされる地元商業者等が中心となり、地権者の方々をはじめ関係団体の協力を得て事業を推進する予定です。具体的な事業手法については今後詳細に検討することになりますが、拠点施設に出店意向をもつ地元商業者等が地権者の方々の建設する拠点施設を一括して借り受ける方法や、地元出店意向商業者等が自ら施設建設する方法などが想定されます。

地元出店意向商業者等では、事業推進活動を担うため「(仮称)賑わいの拠点づくり準備組合」の設立を予定しています。

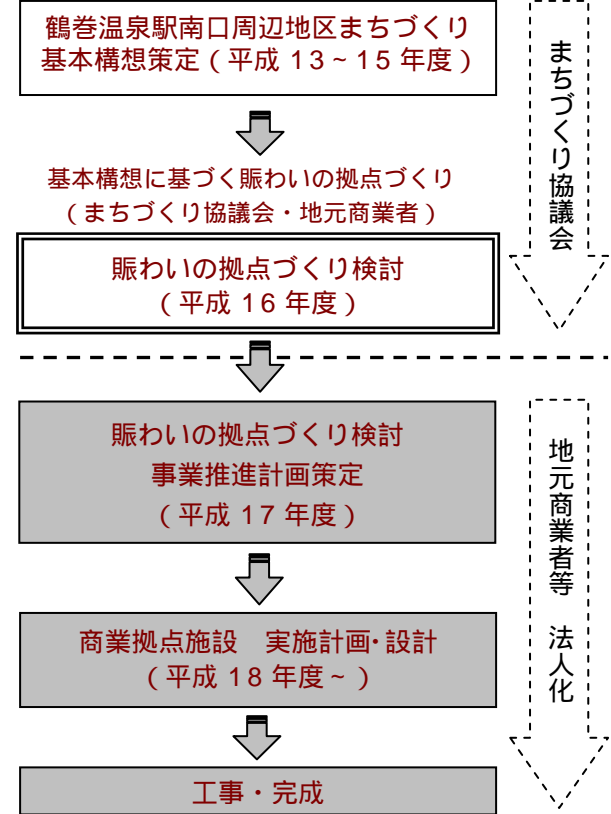


今後の進め方

賑わいの拠点づくり事業は、平成 15 年 8 月の「鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想」に位置づけられて以降、まちづくり協議会の基で、専門部会やプロジェクトチームを設け事業構想案の検討を進めてきました。

平成 17 年度以降は、今後事業の中心となる地元商業者等が、法人化の基になる準備組合を設立した上で具体的な事業内容の詳細検討を進め、拠点施設の早期の完成を目指します。

賑わいの拠点づくり事業は、南口駅前広場の整備や県道の拡幅など基盤整備と密接な関係があります。したがって、今後は神奈川県や秦野市などの関係機関と常に協議・調整を行いながら、基盤整備と歩調を合わせて、拠点づくり事業の推進を図っていきます。平成 17 年 1 月、地元商業者等により「(仮称)賑わいの拠点づくり準備組合・発起人会」が開かれました。現在、広く事業参加者を募っており、4 月には準備組合を組織する予定です。



《賑わいの拠点づくりは協働のまちづくりをめざします》

賑わいの拠点づくりは、地元商業の活性化のみならず、鶴巻地区の利便性を高め、住民の皆様のご生活や活動を支援することめざして拠点施設を整備する事業です。拠点施設を構成する機能や施設については、地元の皆様をはじめ広く市内外のご意見やご要望をお聞きしながら、実現に向けた取り組みを行いたいと考えています。皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます

鶴巻温泉駅南口まちづくり協議会・(仮称)賑わいの拠点づくり準備組合発起人会

